

# 年頭のごあいさつ

市長 齊藤滋宣

市民の皆さま、あけましておめでとうございます。

2026年の清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、市政の推進に格別のご協力とご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、天候に大きく翻弄された一年でした。7月までの少雨傾向から一転、8月から9月にかけては記録的な大雨が発生し、被害に遭われた皆さまには、心からお見舞い申し上げます。

また、人の生活圏内でのマの出没が相次ぎ、市民生活に大きな影響をもたらしました。市は、皆さまの安全・安心の確保に引き続き全力を尽くしてまいります。

本市の環境政策として

は、昨年7月に、2050年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「能代市カーボンニュートラル宣言」を行いました。誰もが安心して暮らすことのできる、豊かな環境に満ちたふるさと能代を後世に残すため、市民、事業者、市が一体となってさまざまな取り組みを推進してまいります。

その具体的施策の一つでもある洋上風力発電については、「八峰町及び能代市沖」の選定事業者が事業実施に向けて取り組んでおり、また、「能代市、三種町及び男鹿市沖」では国が再公募の準備を進めています。基地港湾である能代港の活用を図るとともに、再

生可能エネルギー導入の効果を地域に最大限波及させるべく、事業者、地元企業の活用や雇用の創出、地域共生などを働きかけてまいります。

このほか、今年は新しい能代市文化会館フルコンサートグランドピアノのお披露目に向けて検討を進めています。また、能代山本広域市町村圏組合において、4月から新たな一般廃棄物処理施設が稼働開始予定です。秋には、本市で「令和8年度全国ねぎサミット」の開催を予定しており、「白神ねぎ」のブランド力を一層高めるべく、関係各所と準備を進めています。

本市は、来る3月に市制20周年を迎えます。この間、未曾有の感染症を経験

したほか、災害の激甚化、物価上昇、少子高齢化や人口減少の進行など、社会情勢には著しい変化がありました。こうした中でも、「人と人との“和”」「地域資源で活力を生む“環”」「未来へつなぐ安心の“輪”」という3つの“わ”によるまちを実現するため、各種施策を展開してまいりました。

能代が今後さらに「よく代わり」、発展していくため、市民の皆さまからも引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして、輝かしい飛躍の一年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

